

和歌山県立
田辺中学校

学校だより



平成30年3月14日
第171号①

学校長式辞

「卒業生に贈る言葉」

校長 中山浩樹

花の香りがただよい、春の息吹を感じさせる佳日に本校を卒業する皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんは、義務教育9カ年の全課程を修了しました。中学校生活の3年間で、皆さんは数多くの活動を成し遂げ、大きく成長してきました。真摯に取り組んだ授業、友人との語らい、熱中した学校行事や部活動など、そのどれをとっても、皆さんの成長にとって、貴重な歩みであったと思います。皆さんのこれまでの努力と研鑽を、心から讃えたいと思います。また、卒業の喜びは、皆さんのたゆまぬ努力の結果であることは言うまでもありませんが、皆さんのことを絶えず気遣いながら、支えてくださったご家族や周囲の方々のお陰であることを、決



皆さんのますますの飛躍を期して、

為せば成る なさねば成らぬ

何事も

成らぬは人の 為さぬなりけり』

これは、江戸時代後期の米沢藩主であった上杉鷹山の和歌です。鷹山は皆さんと同じ年齢の頃に、名門上杉家の家督を継ぎました。巨額の負債を抱え財政難に苦しむ藩を、度重なる苦難を乗り越えて、生涯をかけて再興させたことで、明君としての評価が大変高い人物です。また、かの有名な第35代アメリカ合衆国大統領のジョン・F・ケネディの日本でも最も尊敬する政治家であったことでも知られている人物です。

上の句の『為せば成る 為さねば成らぬ 何事も』という言葉は、「何かをやり遂げようと、強い気持ちで行動すれば、どんなことでも良

して忘れない
てください。

さて、卒業

生の皆さんの
門出にあたり、

い結果へ結びついていく。何もせずに、ただ待つているだけではどんなことでも結果はでない。」という意味です。



また、下の句の『成らぬは人の為さぬなりけり』という言葉は、「結果が出ないとか、良くないのは、その人がやり遂げようと頑張り、努力しようとする強い意志をもった行動が、まだ足りないからだ。」という意味です。

この言葉は、端的に言うると、「どんなことでも強い意志をもつてやれば、必ずやり遂げられる。」ということですが、つまり、やる気の大切さを説いた言葉で、実行すること、挑戦すること、行動を起こすその勇氣こそが大切だということです。そして、失敗を恐れて立ちすくんでいてはいけません。単にやっでできなかつたことを指すのではなく、本当の意味での失敗とは、ただ手をこまねいて、何もやろうとしなかつたことを指すのだと思います。

皆さん一人一人には、大き

な力と無限の可能性があります。四月からスタートする新たな高校生活でも、その力と可能性を信じ、『為せば成る』と、結果を恐れず何事も勇気を持って挑戦し、将来の夢や目標に向かって頑張っていってほしいと思います。

それは卒業生の皆さん、皆さんの皆さんの洋々たる前途が、健やかで幸多きことを心から祈念しています。



3月・4月行事予定

3月

- 15日(木) SC来校
- 16日(金) 生徒会立会演説
- 17日(土) 真嶋杯(卓球女子)
- 18日(日) くろしお少年剣道大会、リンク別卓球大会
- 22日(木) SC来校、田辺高校入学予定者登校日
- 23日(金) 修了式、生徒会認証式
- 24日(土) 郡記録会(陸上)
- 25日(日) たな博(吹奏楽)

4月

- 4日(水) 離任式(定刻登校)
- 6日(金) 高校入学式(午前)
中学校入学式(午後)
- 9日(月) 新任式、始業式